

「自然栽培×ビジネスリーダー育成」 プログラム

【目的】

経営者・経営幹部・管理者のリーダーシップ能力とコミュニケーション能力を向上し、組織の目標達成能力を高めます。

【要旨】

人財も植物の育成も、そのポテンシャルを最大限に引き出す基本原則は同じです。

自然栽培法を用いて社内※1で植物を栽培し、栽培活動と組織活動における自分の在り方※2を対比させながら振り返ることで、参加者の自己認識を深め、日常業務における人間関係やチーム内のコミュニケーションを改善するための気づきとヒントを得ていきます。

※1 社内の空きスペース・屋上・ベランダなどを利用して社内菜園をつくり栽培を実践します。参加人数や栽培する品種にもよりますがタタミ2畳程度のスペースがあると理想的です。

※2 在り方：ある物事に直面した時の、自分の思いや考え、感情、行動のこと

【プログラム概要】

● 自然栽培の基本

- ・ 自然栽培の基本原則と技法の学習
- ・ 実際の栽培活動とその結果を通じた自己パターンの把握と観察力の醸成

● 植物の育成とリーダーシップスキルの関連性の理解

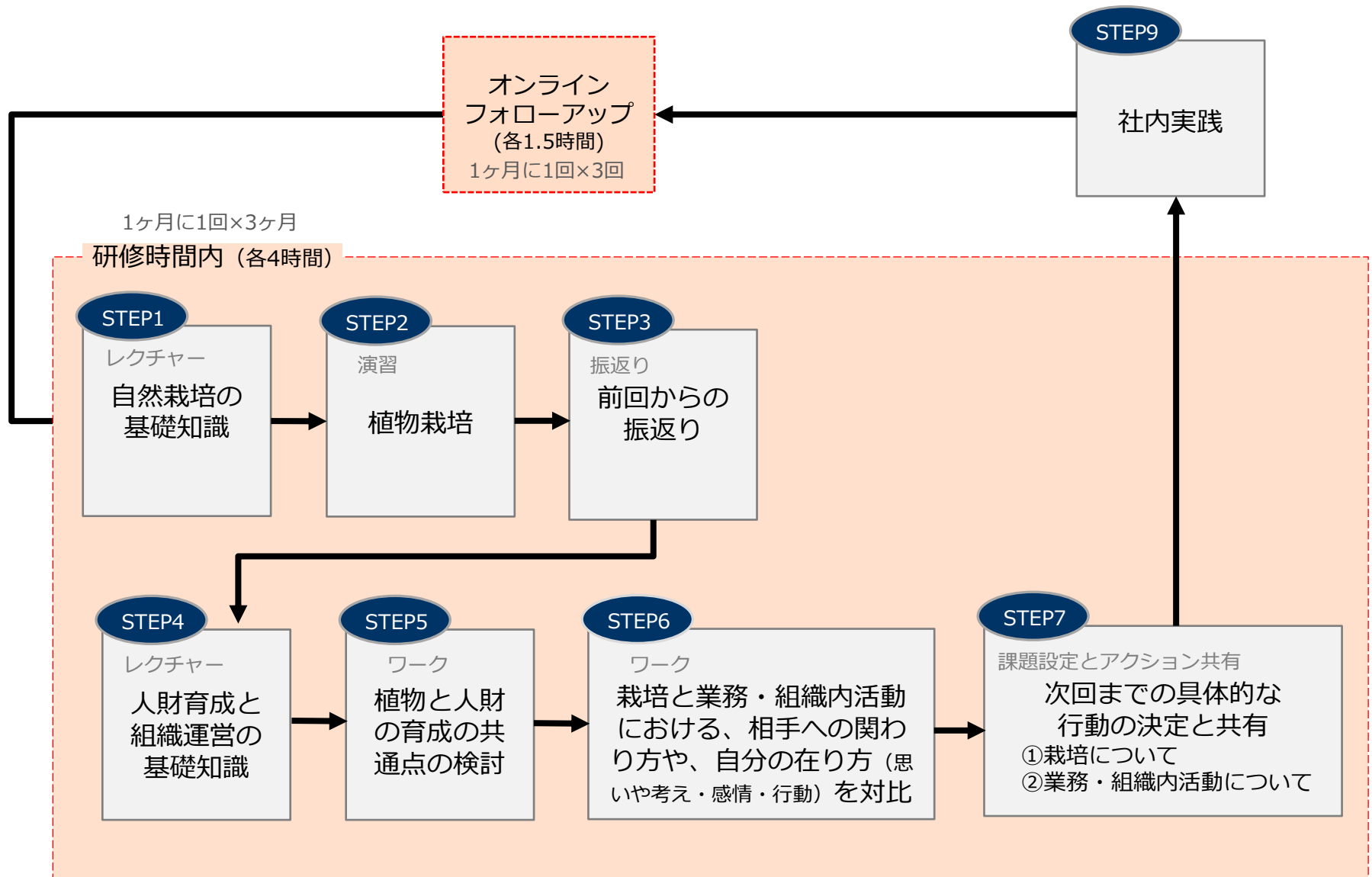
- ・ 相手の特性と状態の理解
- ・ リーダーシップとコミュニケーションスキルの向上

● チームビルディングとコミュニケーションスキルの向上

- ・ 組織内での人間関係とコミュニケーションの向上
- ・ チームの生産性と効果的な目標達成のための戦略の構築

● 振り返りと組織内での活用

- ・ 定期ミーティングでの振り返りとフィードバック
- ・ 業務や組織内への適用と、次回までの行動と目標を設定



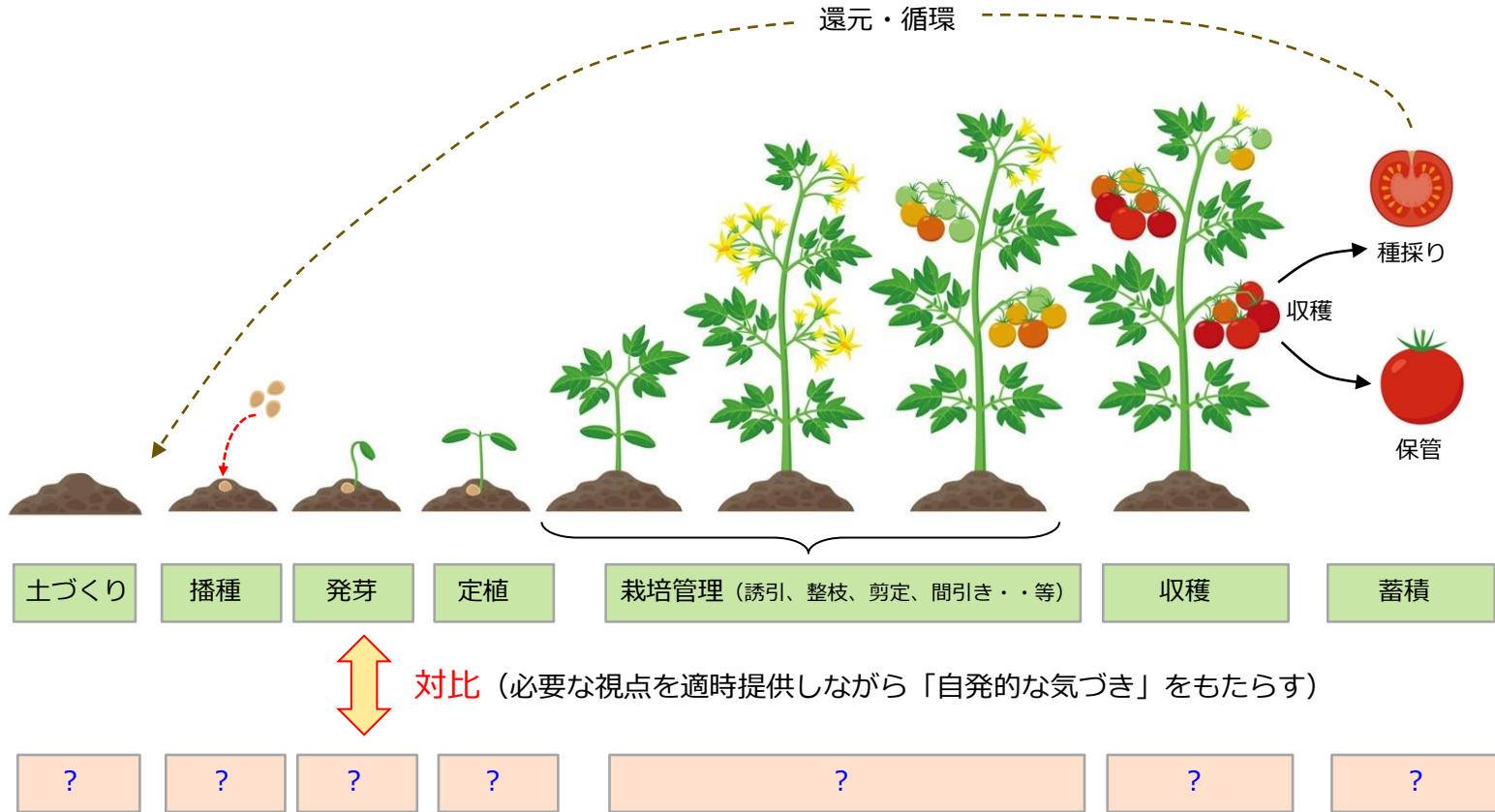
プログラムのイメージ

自然栽培の基本知識 → 実践 → 結果の振り返り



対比 → 関連性の理解 → 自己認識を高める → 業務や組織内での活用

人財育成の基本知識 → 日常の振り返り



【参加するメリット】

- ・リーダーの自己認識力とコミュニケーションスキルの向上
- ・組織内の人間関係とコミュニケーションの質の向上
- ・組織の生産性と目標達成能力の向上
- ・次の記事（なぜ「社内菜園」が組織を変えるのか？ -自然栽培に学ぶリーダーシップ育成術-）も、ぜひお読みください。
<https://www.beone-c.com/column/management-view/52.html>（クリックで開きます）

【主な対象者】

経営者・経営幹部・管理者、リーダー候補、その他ご要望に応じて対応いたします。

【開催期間と頻度】

- ・3ヶ月間／クール
- ・研修と実践指導：月1回 × 3回（各4時間/回） ※貴社内で開催
- ・フォローミーティング：月1回 × 3回（各1.5時間/回） ※オンラインで開催

【費用】

現況や希望の参加者数をお伺いした上で、別途お見積りいたします。

【参加条件】

- ・人財育成に積極的に取り組みたいと考えていること
- ・3ヶ月の実施期間中、4時間×3回の実践研修と、途中1.5時間のフォローミーティング×3回を開催できること
- ・プログラム参加者に週2時間以上の栽培管理の機会を提供できること（昼休みや就業前/後でも可）
- ・会社敷地内にタタミ2畳程度の栽培スペース もしくは、栽培用のプランターを設置できること

Q1：どのような企業や組織が参加できますか？

A1：あらゆる業種、企業規模の組織が参加可能です。特に、従業員の自己成長や組織の活性化を目指す企業にとって価値があります。なお、参加人数は一人ひとりのフォローを充実させるため、6～8名までが理想的ですがご要望があればお聞かせください。

Q2：開始時期や開催日時は調整可能ですか？

A2：開始時期に合わせた作物を選び・育てるので、開始するタイミングは問いません。また、社内菜園の準備から対応することも可能です。なお、具体的な開催日時は別途調整させていただきます。

Q3：野菜を育てられるスペースが社内がありませんが、参加できますか？

A3：社内に適当なスペースがない場合は、プランターを設置するなどの代替案をご提案いたします。具体的な状況をお聞かせください。

Q4：どのような方が指導にあたりますか？

A4：経営コンサルタント&プロコーチとして経験豊富な講師が指導にあたります。
また、講師は実際に自身の田畑で自然栽培を実践し、自然栽培塾も主催するなど栽培や教育に関する知見も有しています。

Q5：自社のニーズや状況に合わせてカスタマイズすることは可能ですか？

A5：特定のニーズや状況に合わせて、プログラムの一部をカスタマイズすることも検討します。具体的な要望や状況をお聞かせください。

Q6 : プログラム終了後のフォローアップはありますか？

A6 : はい、ご要望に応じてプログラム終了後も定期的にフォローアップを行い、継続的な成果をサポートすることも可能です。

Q7 : どのような実例がありますか？

A7 : 社内菜園が組織にポジティブな変化をもたらす事例は増えています。例えば、島津製作所グループや堀場製作所など、さまざまな企業で成果が報告されています。

また、自然栽培の生みの親である、木村 秋則 先生も、高野山の僧侶や少年刑務所の受刑者をはじめ、最近では経営者向けの指導もされて効果をあげています。

Q8 : なぜ、わざわざ社内で野菜を育てながら社員教育をするんですか？

A8 : 人には「現状維持バイアス」といって現状に留まろうとする力が強く働いています。このため、他人から言われた事や新しい知識を受け入れることに、意識的にせよ無意識的にせよ強い抵抗感を持ちます。これが、社内改革や教育効果を妨げる大きな要因となっています。

このため、社内変革や教育効果を高めるには、一見遠周りに見えても、単に知識を詰め込むのではなく体験を伴った「自発的な気づき」を促すことが重要となります。

本プログラムは、自らの手で野菜を育て振返る過程で、多くの「自発的な気づき」が得られるよう設計しています。

【お問い合わせ先】

株式会社ビーワン・クリエイト 担当：平田

TEL : 0263-87-0881

E-mail : info-all@beone-c.com

<https://www.beone-c.com>